

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 井手町立泉ヶ丘中学校 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	泉ヶ丘中学校全校生徒 162名 井手小学校6年生全児童 36名 多賀小学校全校児童 90名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（英語、保健体育、総合的な学習、特別活動） ② 行事名（国際交流・海外派遣事業） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（井手町文化祭） ② その他（町内両小学校での交流会）
4 目標 (ねらい)	泉ヶ丘中学校中学校国際交流・海外派遣事業を通して、スポーツ・文化についての理解を深める。
5 取組内容	平成30年9月17日（月）～26日（水） (1) ドッジボールでの交流（保健体育）、部活動での交流  (2) ダンス、ネットボールでの交流（総合的な学習の時間）  (3) 日本文化の紹介（英語、国語） 

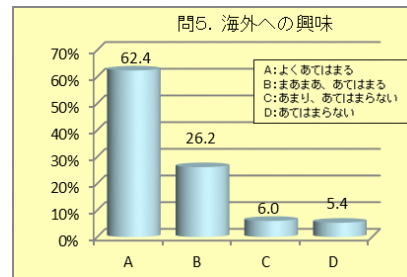
(4) 小学生との交流



6 主な成果

右のグラフからも分かるように、ほとんどの生徒が海外のスポーツや文化に興味を示した。

また、日本の文化の紹介にも意欲的で、おもてなしの心をもって留学生を受け入れることができた。



7 実践において工夫した点 (事業の特色)

本町の事業である「泉ヶ丘中学校国際交流・海外派遣事業」での姉妹校留学生受け入れ期間を中心に取り組んだ。中学生どうしの交流だけでなく、小学生や地域住民とも交流できるよう意識した。

8 主な課題等

オリンピック・パラリンピック教育の視点を明確にし、今後も継続していきたい。

9 来年度以降の実施予定

次年度はオーストラリアへの代表生徒派遣年度にあたるため、事前の取組やペンフレンドとの交流、帰国後の成果の普及を中心に、交流を一層深めたい。